



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「①つくしくまわりを ②がおてあいさつを ③ちんとくつならべ」

令和6年度 第47号
熊本市立植木小学校
令和6年11月27日
教頭 出田 智子

全校朝会 絵本「とべないほたる」から考えてほしいこと

毎月1回実施している全校朝会。いつもは校長先生からその月ごとに子どもたちに考えてほしいことをお話ししていただいておりますが、今回は教頭が行いました。

「とべないほたる」(作:小沢昭巳、絵:関重信)という絵本の読み聞かせをしました。

『ほたるの子どもたちがはじめて飛び立とうとしています。でも一匹だけ、羽がちぢれてとべないほたるがいました。とべないほたるは自暴自棄になりますが、仲間のほたるはとべないほたるのことを気遣っていました。とべないほたるが人間の子どもたちに捕まりそうになると、仲間が自分から捕まりに行きました。とべないほたるは仲間の思いやりに涙をこぼすのでした。』というあらすじです。



私がお話と出会ったのは、最初に赴任した学校です。当時は、道徳などの教科書に載っており、人権学習の教材としてこのお話から「自分から行動することや仲間の大切さ」について子どもたちは学んでいました。ずいぶん前のことですが、きっと今の子どもたちの心にも響くお話なのではないかと思い、聞いてもらいました。

子どもたちは真剣に聞いていました。とべないほたるに自分を重ねた子どももいたでしょう。仲間のほたるたちを自分の学級と重ねた子どももいたでしょう。「仲間を助けていてすごいと思った。」心に感じたことを素直に発表していました。その日の帰りの会で、「教頭先生の読み聞かせが心に残りました。友だちのことを大切にしたいと思いました。」と話していた子どももいたそうです。1人でも心が動いたのならうれしいです。そして、その心の動きを「行動」にうつしていけるかどうか、見守っていきたいと思います。



この11月は「心かがやけ月間」です。今週30日(土)にはその取組の一環として親子道徳(授業参観)を行います。自分自身のこと、周りの人との関わり、社会や集団との関わりなどについてそれぞれの学級ですてきな学び合いの授業を行いますので、ふるってご参観ください。

また、12月10日の人権デーにあわせ、学校では12月9日~13日を「人権週間」として人権学習にも取り組みます。

私はだれよりも一番長く(10年目です。)植木小学校に通っています。私の大好きな植木小学校を一人一人の子どもたちのパワーでいじめや差別のない笑顔いっぱいの学校にしてほしいと願っています。

追伸:ファミリー読書は終わりましたが、小さなころに読んだ絵本をもう一度読んでみるのもいいですよ!



【本校の教育目標】

気づき・考え・行動する自立と共生の力を備えた子どもの育成
～ どの子ども大切にされ、どの子ども成長する学校をめざして ～

